海外に売り込め ㊦

アクティブ県内企業

エイトアンドグローバル（永平寺町）
円形機械式立体駐車場

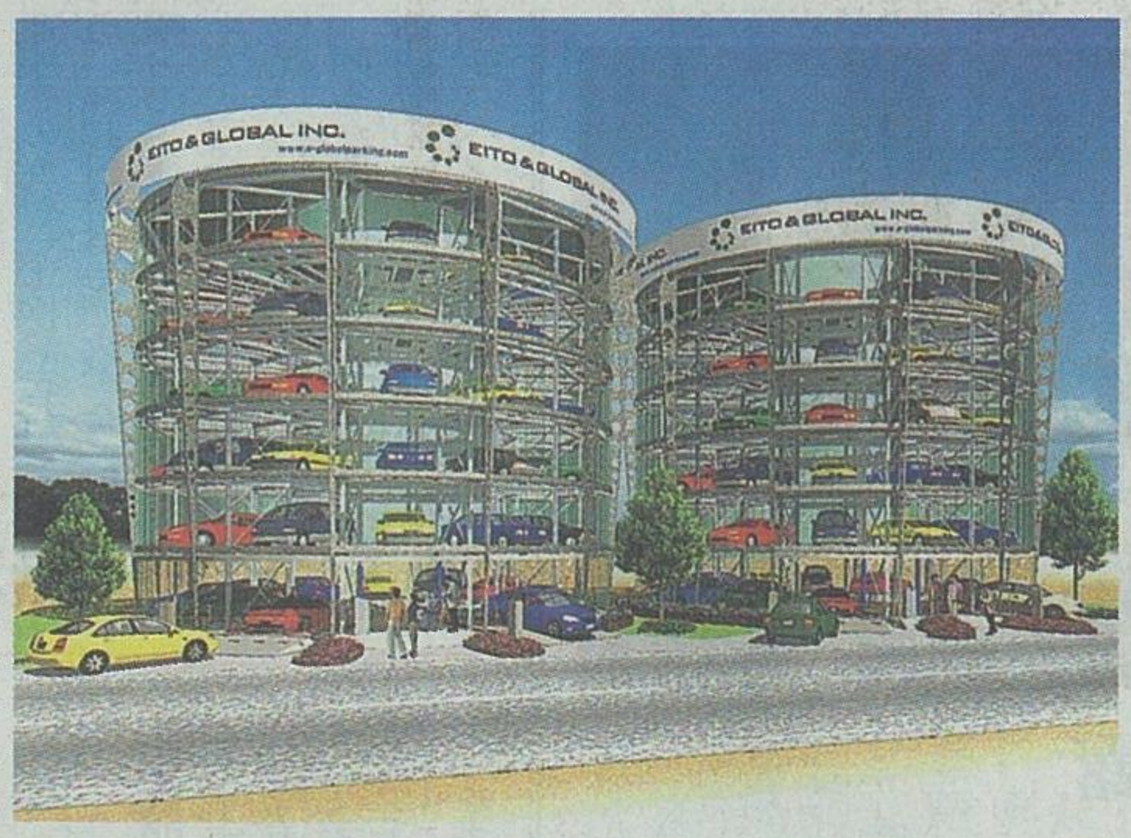
面積効率武器に進出

円形に近い十―十二角形の全自動機械式立体駐車場を製造販売するエイトアンドグローバル（本社永平寺町松岡吉野堺、永善弘剛社長）は、輸出に特化したビジネスを展開。積極的な海外プロモーションの結果、低コストと土地効率の高さが関心を集め、中東や東欧から多くの引き合いが寄せられている。

駐車場には地上式、地下式があるが、円柱構造のメリットは多く、耐震・免震性に優れている上、駆動部分は円形中央のエレベーターだけのため、メンテナンス費用を抑えることができるという。

特に地下式の場合、通常の地下自走式駐車場に比べて掘削土量が少なく工期短縮が可能。面積効率で三・五倍、コストは四分の一だ。永善社長は「もともとさまざまなメーカーからのOEM（相手先ブランド）生産を手掛けており、その中で無駄を省きアイデアを凝らしていったら円形にたどりついた」と話す。

立体駐車場の国内市場は年間三千億円規模。それを約七十社で奪い合っている。「日本でそれだけの規模があるなら、海外にはもっとあるはず」と永善社長。ジェトロの国際ビジネスマッチングサイト「TTPP」に登録してみると、同社サイトには海外から千五百件のアクセス、五十件の問い合わせメールが寄せられ、ビジネスチャンスがあると判断した。



エイトアンドグローバル（永平寺町）が輸出を目指す円形の立体駐車場のイメージ図

今、日本の自動車メーカーの代理店であるサウジアラビアの企業と商談が進行中で、その企業ではショールームとしての活用を検討している。このほかアラブ首長国連邦、ルーマニア、ウクライナ、クロアチア、ロシアでも関心が高く、代理店契約に至ったところもある。さらに東南アジアへの展開も視野に入れているという。

輸出の際、日本から搬送するのはエレベーター部分のみ。直径四十フィート（約十二メートル）コンテナではわずか二個分だ。駐車場は最初から輸出を想定した設計になっており、それ以外の部材は現地パートナー企業が調達、施工も現地業者が行う。「これによりコストパフォーマンスが大きくなる」と永善社長は強調する。

海外への積極的なプロモーション活動を通じて、海外の貿易会社やコンサルタント会社とのネットワークを構築。駐車場輸出ビジネスとは別に、県内企業の製品を海外に紹介するビジネス展開も考えている。

人事異動

福井銀行（25日付）

（Gはグループ、Tはチーム、GMはグループマネージャー、TLはチームリーダー、SLはサブリーダー）

▽監査GM（監査G監査TL）林正博▽融資G審査TL（兼融資管理TL（福井中央支店副支店長）前田英之▽融資Gリテール融資TL（監査G臨店TSL）戸倉克己▽監査G監査TL（監査G監査TSL）上野吉弘▽監査G監査TSL（融資G審査TL）仲谷孝之▽融資G融資管理T（融資Gリテール融資TL）橋詰修幸▽監査G臨店T（本店営業部副部長）道端崇師▽監査委員会事務局長（監査G監査T）齋藤忠彦▽春江エリア統括店長兼春江支店長（神明支店副支店長）堂前直樹▽小浜エリア統括店長兼小浜支店長（春江エリア統括店長兼春江支店長）刀祢照彦▽東京エリ

栃カコ 眼鏡 ハ、キカコ など十九社が参加。技術力の高さをアピールし、取引先の開拓を目指す。

同展は、国内最大規模の専門展で、今年は過去最高の千三百二十社が参

部品 技術を中 県眼鏡工業組合は、眼鏡製造で培った七社の微細加工、メッキ加工技術などを取り上げ、異業種への展開を目指す。

東京商工リサーチ、帝国データバンク両福井支店によると、土木・舗装・建築工事業の兼井組（本社大野市吉、兼井隆社長）は二十五日、福井地裁に自己破産を申請、行き詰まりが表面化した。

両支店によると、負債総額は約四億五千万円とみられる。

同社長は今年五月、国が発注した九頭竜川パイプライン事業入札の談合

三大建設（大阪）に

略式命令を受けた 同社はこの影響で北陸農政局や県、市、国交省北陸地方整備局などから五カ月―一年の指名停止処分を受けており、受注環境が悪化していた。

同社の関連会社で砂利、砕石製造業のセレクトワーク大宝（同、橋本治隆社長）も同日、自己破産を申請。ほかの二社は準備中。

決定・業務執行の監督 け行い、社外取締役が過半数を占める三委員会を設置することで経営の透明性を高める。業務執行は執行役が担う。

構成役員は次の通り。

【取締役会】▽取締役（代表取締役頭取）市橋七郎▽同（代表取締役専務）毛利俊則▽同（監査グループマネージャー）清水正一▽社外取締役（同）野村直之▽同（社外監査役）野村一榮▽同 吉川奈

【執行役】▽代表執行役頭取 市橋七郎▽代表執行役専